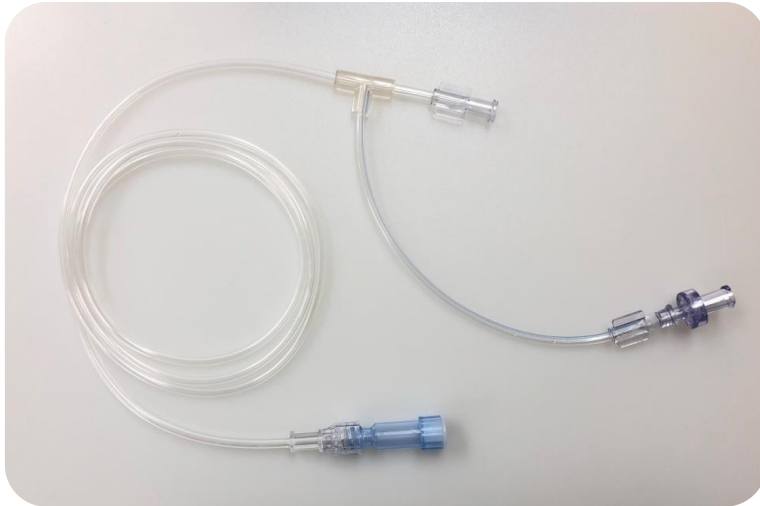




## デュアル用逆止弁付きエクステンションチューブ



### ◆プライミングキャップ

新発想のキャップ構造により、プライミング時にキャップからの液漏れが軽減できます。コネクタが清潔に保たれ、使用環境改善に役立ちます。



オスコネクタ側  
(全製品に使用)



メスコネクタ側  
(型式末尾PPに使用)

### ◇仕様

#### プライミングキャップ付き

型 式	逆止弁仕様	内径× 外径(mm)	長さ(mm)	内容量(ml)	耐圧性能	梱包単位	JANコード
FGM-CTY-1000P	生食水側逆止弁	1.5×3.0	1000	2.0	1.47MPa (213psi)	50本/箱×4 (200本/ケース)	4547319471719
FGM-CTY-1500P			1500	2.9			4547319471795
FGM-CTY2-1000P	生食水側逆止弁	2.2×3.8	1000	4.6			4547319471917
FGM-CTY-125-CVP	生食水側逆止弁	1.5×3.0	1000 <sup>三原付きキャップ +250</sup>	2.4			4547319471764
FGM-CTY-1000RP	造影剤側逆止弁	1.5×3.0	1000	2.0			4547319471740
FGM-CTY-1500RP			1500	2.9			4547319471825
FGM-CTY-2000RP			2000	3.8			4547319471887

#### 両側(オス・メス)プライミングキャップ付き

型 式	逆止弁仕様	内径× 外径(mm)	長さ(mm)	内容量(ml)	耐圧性能	梱包単位	JANコード
FGM-CTY-600PP	生食水側逆止弁	1.5×3.0	600	1.4	1.47MPa (213psi)	50本/箱×4 (200本/ケース)	4547319471993
FGM-CTY-1000PP			1000	2.0			4547319471726
FGM-CTY-1000PP3			1000 (サブルト300mm)	2.3			4547319472020
FGM-CTY-1500PP			1500	2.9			4547319471825
FGM-CTY2-1000PP	生食水側逆止弁	2.2×3.8	1000	4.6			4547319471924
FGM-CTY2-1500PP			1500	6.6			4547319472341
FGM-CTY-1500RPP	造影剤側逆止弁	1.5×3.0	1500	2.9			4547319471832
FGM-CTY-2000RPP			2000	3.8	4547319471894		

※●は受注生産品です。

#### ●使用上の注意事項

- 1)ご使用前に必ず添付文書をご一読ください。
- 2)包装が破損、汚損している場合や製品に破損等の異常が認められる場合は使用しないでください。
- 3)水ぬれに注意し、直射日光を避け、高温多湿の場所には保管しないでください。
- 4)本製品は医療用ディスポーザブル製品です。1回限りの使用にしてください。
- 5)形状および仕様は予告なく変更する場合があります。

一般的名称: 造影用耐圧チューブ  
販売名: CT用エクステンションチューブ  
認証番号: 302AABZX00018000

#### 製造販売元



フォルテ グロウ メディカル 株式会社

〒327-0003 栃木県佐野市大橋町1647  
TEL:0283-22-2801 FAX:0283-21-2558  
http://www.fgm.co.jp/

#### 東京営業所 営業部(お問合せ先)

〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸51号 第一スレートビル5F  
TEL:03-3863-1901 FAX:03-3863-1905

#### 販売業者



ORTメディカル株式会社

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-19 竹生第2ビル9F  
TEL:045-534-7015 FAX:045-534-7760  
http://www.ort-md.co.jp/

# デュアル用エクステンションチューブ ～プライミングキャップ～

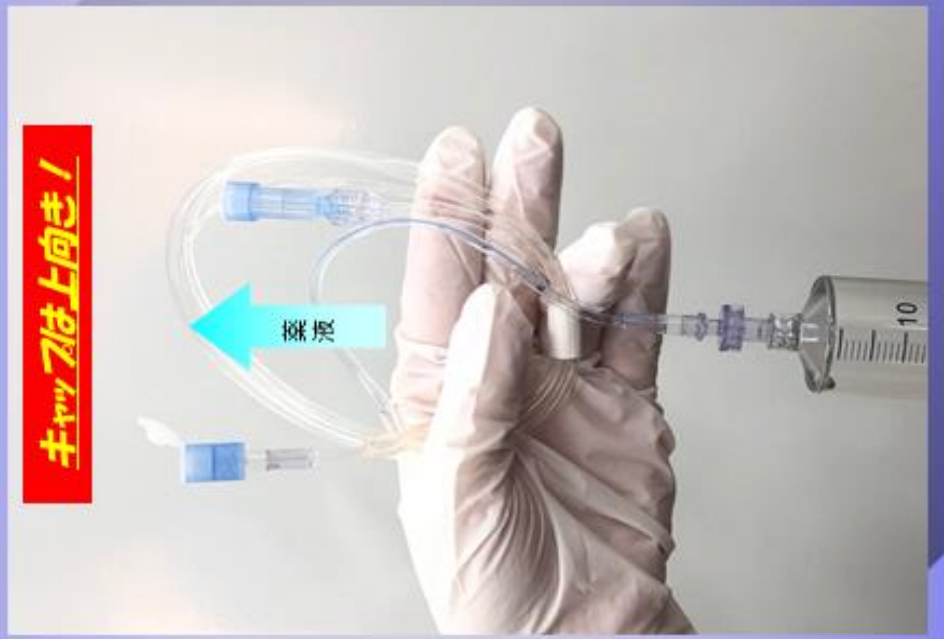


## ■ チューブのプライミング方法



### STEP ①

生食水入りシリンジをルートを接続し、両端のキャップ先端を**上向き**にセットして下さい。  
薬液を注入し、チューブ内のエア抜きをします。  
キャップ内に薬液が上がったらプライミングが完了です。



### STEP ②

プライミング後は、エア流入防止のためフタ付きキャップのフタを閉じて下さい。  
造影剤シリンジや穿刺針等と接続する際は、キャップを外してご使用下さい。

- 【取り扱い時の注意】
- キャップに薬液を満した状態で長時間留置すると、フィルターから液漏れする恐れがあります。
  - キャップを下向きにしてプライミングを行う場合、スムーズにエアが抜けにくいことがあります。